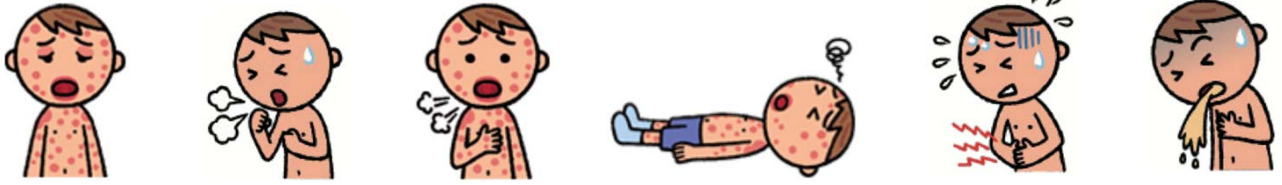


ワクチン接種における アナフィラキシーショックへの対応

接種後に症状出現



アナフィラキシーかも！？

⇒人を呼び、モニター・アドレナリン・酸素・ルートの準備を依頼する。

仰臥位にし、モニター装着してバイタルサインを確認する。

下記ABCDを確認する。

Airway ：喉頭浮腫	(普段と同じ声ができればok)
Breathing ：喘鳴	(呼吸音に異常がなければok)
Circulation ：ショック	(橈骨動脈を触知できればok)
Diarrhea ：消化器症状	(嘔気嘔吐、下痢、腹痛がなければok)

※皮膚症状は診断に必須ではありません。

ABCのいずれかに異常があれば、

① **アドレナリン0.3mg**を大腿外側に筋注！

ためらわず、
アドレナリン
1/3 アンプル！

② 同時に、**119番通報**する。



③ 気道/呼吸症状があれば、**酸素**を投与する。

不織布マスクの
上からでok



④ 搬送を待つ間に、**体位**を整える。

ぐったり、
意識もうろうの場合
仰臥位で下肢挙上



吐き気、嘔吐がある場合
左側臥位



呼吸が苦しく、
あお向けになれない場合
座位で後方にもたれさせる



⑤ **ルート確保**し、**細胞外液**を全開で投与する。



⑥ 血圧低下が継続すれば、
5分毎にアドレナリン0.3mg筋注を繰り返す。

※ショックに対して、ステロイドや抗ヒスタミン薬は即効性がないので、
アドレナリン・酸素・輸液とすみやかな搬送を優先してください。

